

C-2 XBT・XCTD システム (鶴見精機)

本装置は、センサー部（プローブ）、投下器及びデータ処理装置（ランチャー）で構成されます。プローブには水温センサー（サーミスタ）が取り付けられており、航走中、船上よりランチャーを使用して海中に投下させると、エナメル線を繰り出しながら水温を計測しつつ自然落下します。計測された水温は、エナメル線及びランチャーを通じて船上のデータ処理装置に送られ、保存されます。水温の他に、塩分濃度（電気伝導度）も計測できる XCTD 用のプローブもあります。

注：各プローブは使用者が持参して下さい。



図：(株)鶴見精機 HP より引用